

高等学校地理歴史（歴史）

解答はすべて解答用紙に書きなさい。

[5] 次の文を読んで、下の(1)～(7)の問いに答えなさい。

近世後期から近代にかけての我が国では、全国的に様々な形態の民衆運動がおこったが、新潟県においても同様の動きが見られた。

①元禄時代前後から、小百姓が村の運営をめぐって富農層の不正を追求し、領主に訴える(a)がおこった。②享保時代になると、頸城地方では③質地騒動も発生した。各藩では、藩財政の再建をめざした藩政改革が行われたが、その影響により、越後国各地でも④百姓一揆が増加している。天保時代には、全国的な大飢饉の余波から、天保8(1837)年に国学者の(b)が柏崎の代官所を襲撃するなど、不穏な動きが続いた。幕末の慶応2(1866)年には、幕府による第2次(c)の決定を機に物価が高騰し、村松藩領や長岡藩領などで一揆や打ちこわしが相次いだ。

明治時代になると、徴兵制や⑤地租改正など、新政府の近代化政策に反対する一揆が県内各地でおこった。このうち、明治5(1872)年の大河津分水一揆は、新政府をも揺るがす騒動であった。その後、大正デモクラシーの波及によって、⑥米騒動をはじめとして、様々な民衆運動がおこった。地主制が確立していた新潟県では、大正11(1922)年の木崎村や昭和5(1930)年の和田村で、地代の減免などを要求する(d)がおこり、これは全国的にも大規模なものであった。

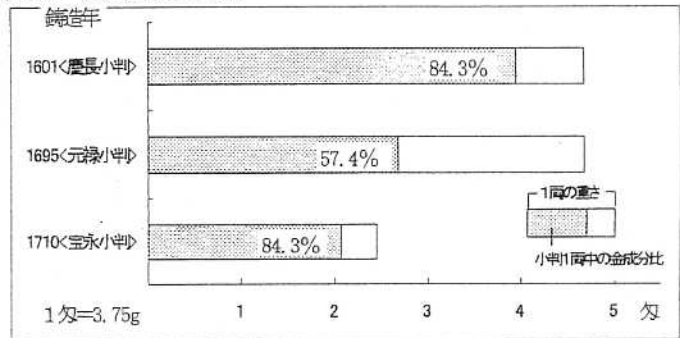
- (1) 文中の(a)～(d)に当てはまる語句や人名を書け。
- (2) 下線部分①における幕府の財政政策とその影響について、次の資料1、2にふれながら、説明せよ。

資料1



(『むさしあぶみ』寛文元(1661)年)

資料2 金貨成分比の推移



(大蔵省理財局『日本通貨変遷図鑑』より作成)

- (3) 下線部分②の幕政改革で採用された年貢徴収法は何か、その名称を書け。
- (4) 下線部分③について、幕府の土地政策と農村社会の実態にふれながら、次の語句を用いて簡潔に説明せよ。
田畑永代売買禁止令 質流れ地禁止令
- (5) 下線部分④に関する次の史料を読み、下のア、イの問いに答えよ。

すべて村内にても、上田といへるよき地所は皆福有等が所持となり、下田にして実入り悪しき地所のみ所持いたし、…又其の悪田をも取り失ひし族は、小作のみを致し、高持百姓の下に付きて稼ぎ尽し、作りたる米は皆地主へ納むれば、其の身は、糶・糶・糶のみ得て、年中頭の上る瀬なく、息を継ぐ間さへ得ざるなり。…当世、かくの如く貧福偏り、勝劣甚しく出来て、有徳人一人あれば其の辺に困窮の百姓二十人も三十人も出来るなり。…百姓の騒動するは、領主地頭の責め誣る事のみにはあるべからず。必ず其の土地に有余のものあつて大勢の小前を食ふゆへ、苦痛に迫りて一揆など企るなり。(『世事見聞録』)

ア 史料中の一線部分「高持百姓」について、説明せよ。

イ 史料では、百姓の騒動の原因をどのようにとらえているか、説明せよ。

- (6) 下線部分⑤について、政府は地租率を明治10(1877)年1月に引き下げたが、このことの背景を説明せよ。
- (7) 下線部分⑥について、その原因と終息までの経過を簡潔に説明せよ。